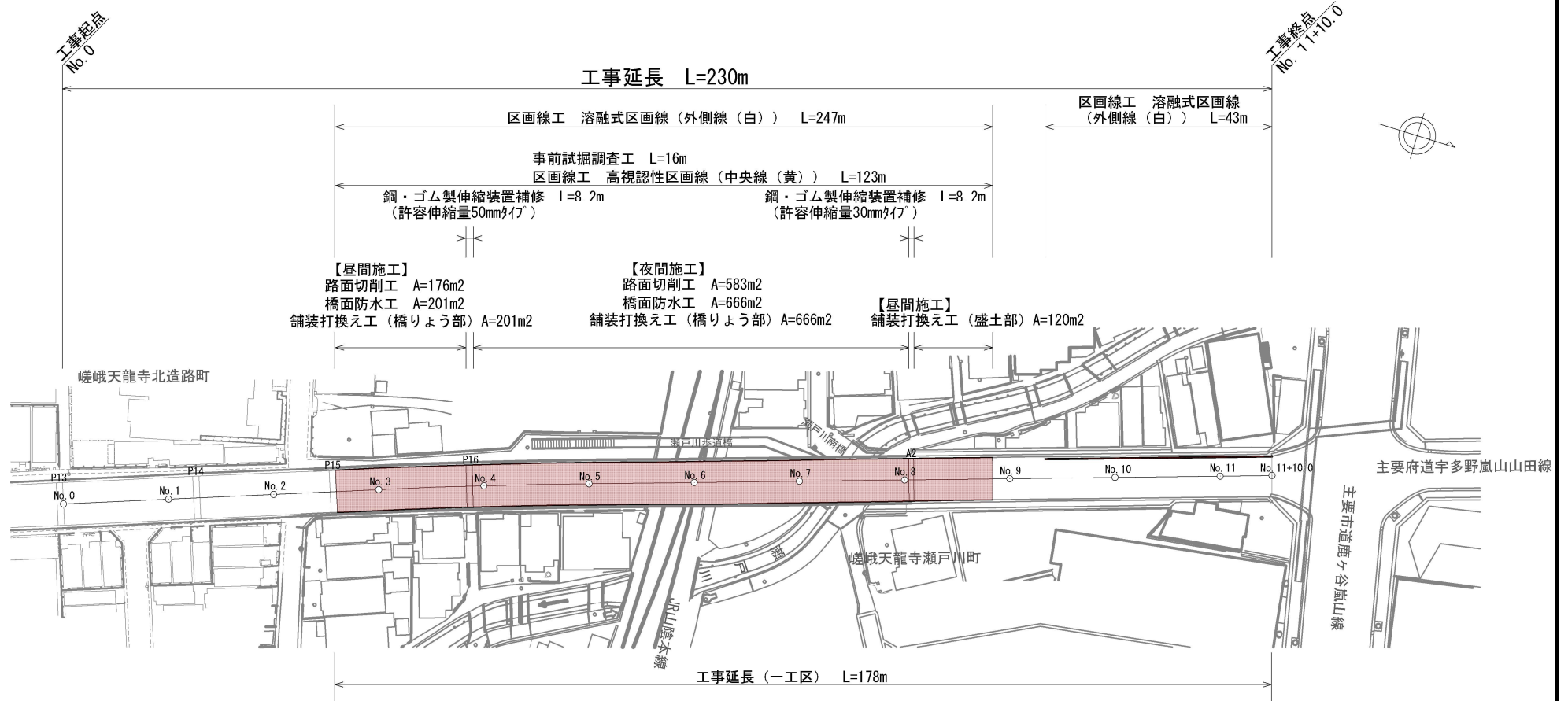


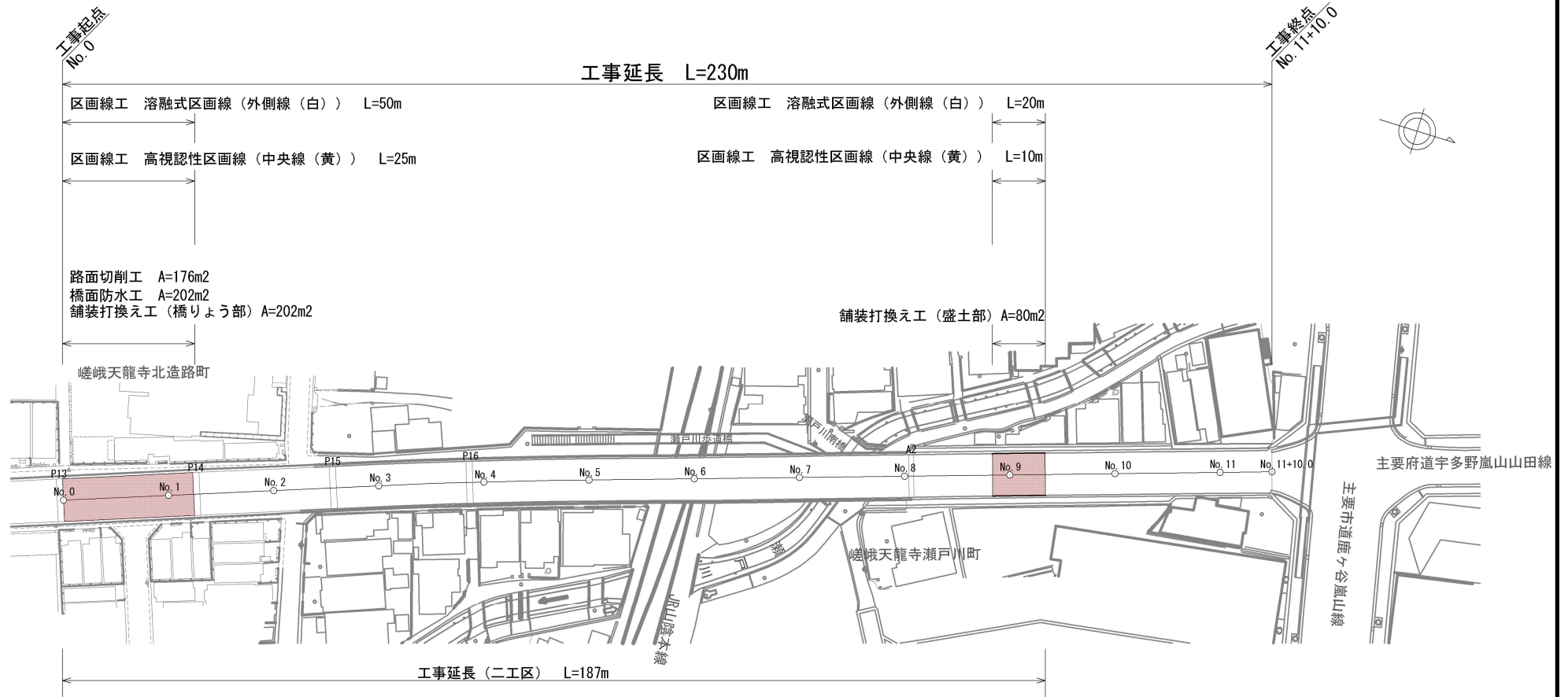
平面図（一工区）（S=1:800）



■ 本工事施工箇所

工事名	橋りょう補修工事（嵐山高架橋）（その2）		
工事場所	京都市右京区天龍寺瀬戸川町他地内		
図面名	平面図（一工区）		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	1 / 4
京都市建設局土木管理部西部土木みどり事務所			

平面図 (二工区) (S=1:800)



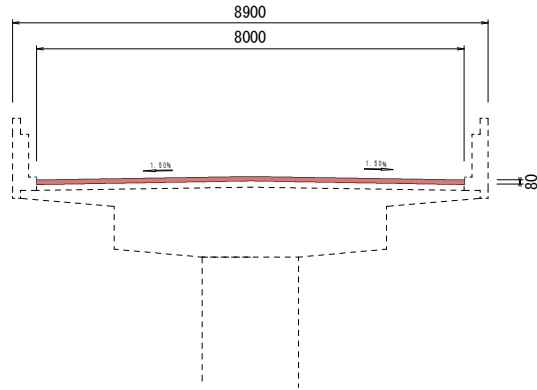
■ 本工事施工箇所

工事名	橋りょう補修工事(嵐山高架橋) (その2)		
工事場所	京都市右京区天龍寺瀬戸川町他地内		
図面名	平面図 (二工区)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
京都市建設局土木管理部西部土木みどり事務所			

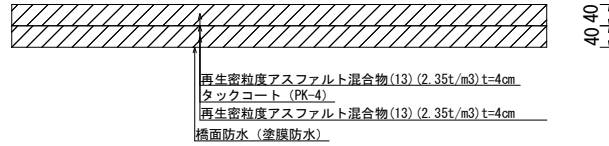
標準横断面図・構造図 (1)

(一工区, 二工区)

標準横断面図 S=1/100
(No. 1, No. 3付近)

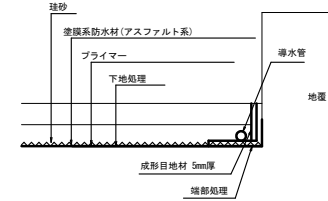


舗装打換え工、橋面防水工 (橋りょう部) S=1/100



塗膜系床版防水層 道路橋床版防水便覧 表-付3.8

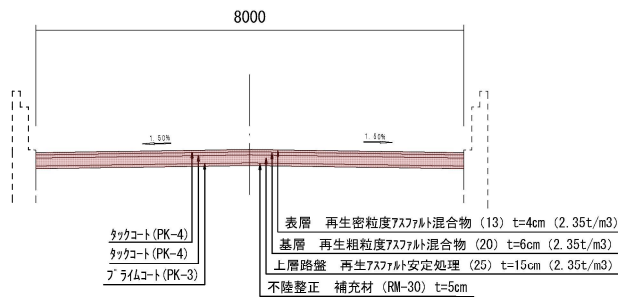
項目	標準値	試験方法
針入度 (円錐針) mm	1 ~ 5	舗装試験法便覧4-12-2
軟化点 °C	80 以上	JIS K 2207
引張強さ (23°C) N/mm ²	0.35 以上	JIS A 6021
破断時の伸び率 %	300 以上	JIS A 6021
耐アルカリ性 (23°C)	異常のないこと	JIS K 5600-6-1
耐塩水性 (23°C)	異常のないこと	JIS K 5600-6-1



一工区【昼間施工】()
一工区【夜間施工】()
二工区【昼間施工】()

工種	種別	規格・条件	単位	数量	備考
橋面防水工	成形目地材	低弾性	m	315.2	(66.2m) (182.6m) (66.4m)
	導水管	ED/パイプφ15同等品以上	m	315.2	(66.2m) (182.6m) (66.4m)

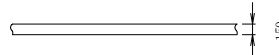
標準横断面図
舗装打換え工 (盛土部) S=1/100
(No. 8+10.0, No. 9付近)



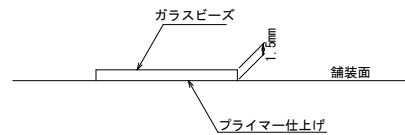
区画線工

溶融式区画線

外側線 (実線 1本、白) (ノンスケール)
単位: mm



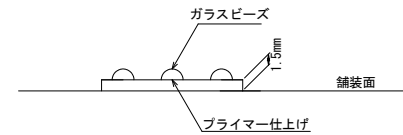
(注) 加熱溶融式の厚さはt=1.5mmとする。



※ 品質の規格は、JIS K 5665 (3種1号) に適合するものとする。

高視認性区画線

車道中央線 (実線 1本、黄) (リブ付き) (ノンスケール)
単位: mm



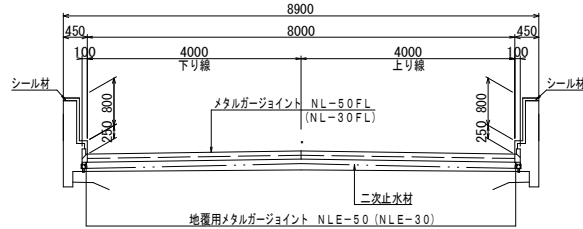
■ 本工事施工箇所

工事名	橋りょう補修工事(嵐山高架橋) (その2)		
工事場所	京都市右京区天龍寺瀬戸川町他地内		
図面名	標準横断面図・構造図 (1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
京都市建設局土木管理部西部土木みどり事務所			

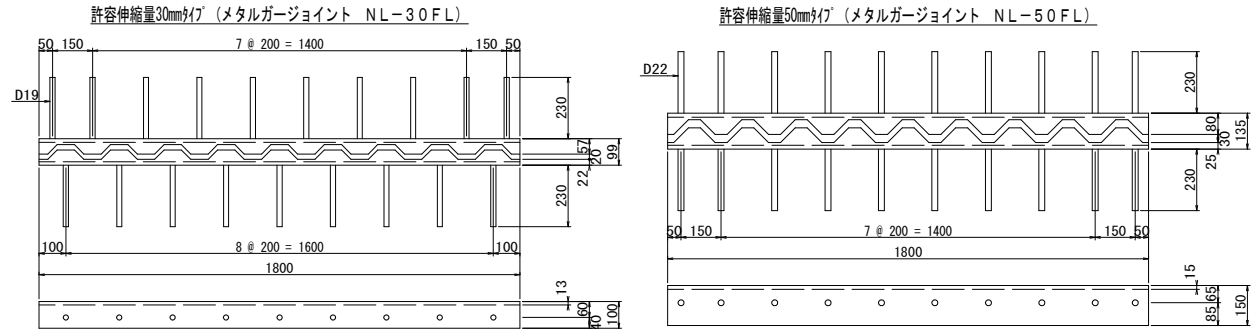
構造図 (2)

鋼・ゴム製伸縮装置

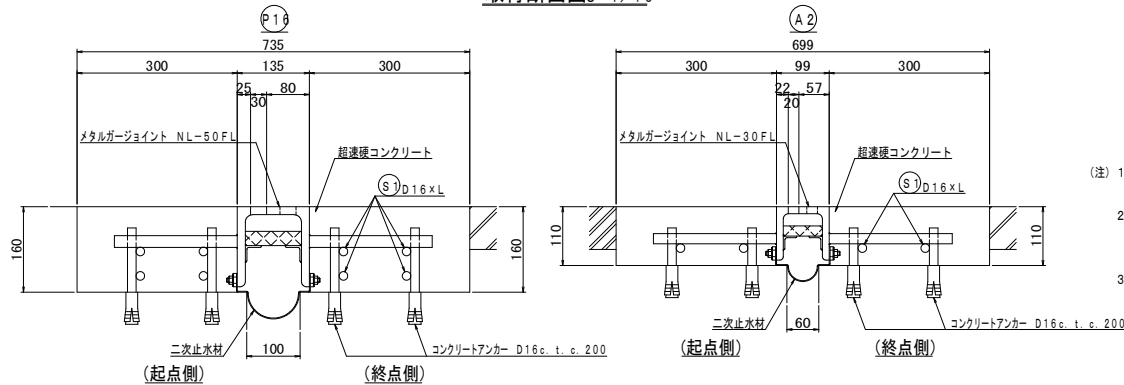
断面図 S=1/10.0 ()内はA2側を示す。



製品図 S=1/20

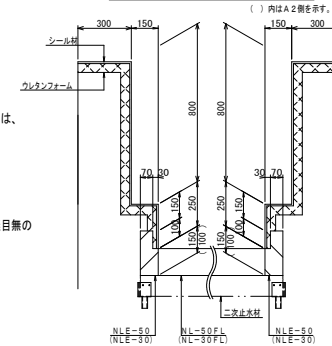


取付断面図 S=1/10

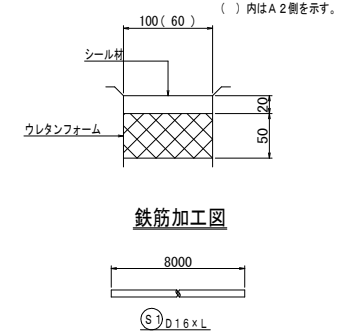


- (注) 1. カッター幅及び研り深さについては、現場の状況により変更の事。
 2. 既設鉄筋が利用可能な場合は、あと施工アンカーを使用せず、加工筋等を使用の事。
 3. 二次止水材については、上下線継目無の連続止水材とする。

地覆部止水処理図 S=1/30



シール材詳細図 S=1/6



(※橋梁用伸縮装置は中外道路(株)メタルガージョイントNL-50FL、NL-30FL(車道用、二次止水材付き)(地覆用NLE-50、NLE-30を含む)と同等品以上のものとする。)

※二次止水材については、上下線継目無の連続止水材とする。

材料表

品名	仕様	単位	P16	A2	合計	備考
メタルガージョイント	NL-30FL	m	—	8.000	8.000	車道部<同等品>
	NL-50FL	m	8.000	—	8.000	車道部<同等品>
地覆用メタルガージョイント	NLE-30	個	—	2	2	地覆部<同等品>(1個当たり0.100m)
	NLE-50	個	2	—	2	地覆部<同等品>(1個当たり0.100m)
二次止水材	連続止水材本体取付型	m	8.200	8.200	16.400	
超速硬コンクリート		m ³	0.76	0.52	1.28	
シール材		L	6.0	3.6	9.6	プライマー含む
バックアップ材		L	6.0	3.6	9.6	ウレタンフォーム
補強鉄筋	S1 D16×L	kg	99.8	49.9	149.7	
コンクリートアンカー	D16	本	160	160	320	

- ※ 伸縮継手長さは、現地測量後決定すること。
 ※ 既設伸縮継手の後打ちコンクリートは撤去すること。
 ※ 排水パイプは、現地測量のうえ決定すること。
 ※ カッター幅及び研り深さについては、現場の状況により変更すること。
 ※ 既設鉄筋が利用可能な場合は、あと施工アンカーを使用せず、加工筋等を使用すること。

工事名	橋りょう補修工事(嵐山高架橋)(その2)		
工事場所	京都市右京区天龍寺瀬戸川町他地内		
図面名	構造図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	4/4
京都市建設局土木管理部西部土木みどり事務所			